

令和4年度 森林計画等に関する検討会 議事概要

日 時：令和5年3月6日（月）14:00~16:00

場 所：東北森林管理局 大会議室

出席者：別紙のとおり

議 事：（1）地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画の策定・変更
（2）計画案の縦覧結果

【委員からの主な意見】

- ・ 人を育てないと林業技術や林業事業者がもたない。自治体や各林業大学校等教育機関、林野庁が今後も連携して、人育て、技術者だけではなく木材利用も含めて、様々な業種、業態へのアプローチを積極的にやっていただきたい。
- ・ 地域の典型的な森林をどう施業して、環境保全機能を維持しながら木材も伐れるのかといったことは、国有林が率先して現場で行うべき。
- ・ 第五次計画（平成29年～令和4年）の実績について、伐採、更新、保育は、いずれも100%を下回っている。数値だけが評価の対象ではないが、次期計画はもう少し数量を抑えた方が実行率は上がるのではないかと思われる。
- ・ 広葉樹の植栽には莫大なコストがかかる。広葉樹林化に当たってはこの点も配慮いただきたい。
- ・ コストの削減で森林生態系に悪影響があってはならない。現地の作業をする人も生物多様性や森林生態系の知識や技術を学ぶべきではないか。
- ・ 今年度から、高品質の高齢級人工スギをブランド化し供給いただいているが、地元の製材工場は、これまで原木の確保に非常に難儀していたので感謝している。今後も継続的に一定量供給していただければありがたい。
- ・ 青森ヒバについて、一度皆伐してスギを植栽した箇所では、自生したヒバの育成に向けて間伐を継続的にやっていただきたい。
- ・ 国有林野事業は、現実的に林業事業者の経営を相当支えていると考えている。特に、林業就業者の維持・確保の面では、ぜひ予算をしっかりと確保いただいて計画量の実行数を高められるように努めていただきたい。
- ・ 緑の回廊について、専門家を交えた評価を行っていただきたい。